

令和3年4月の労働市場の動き

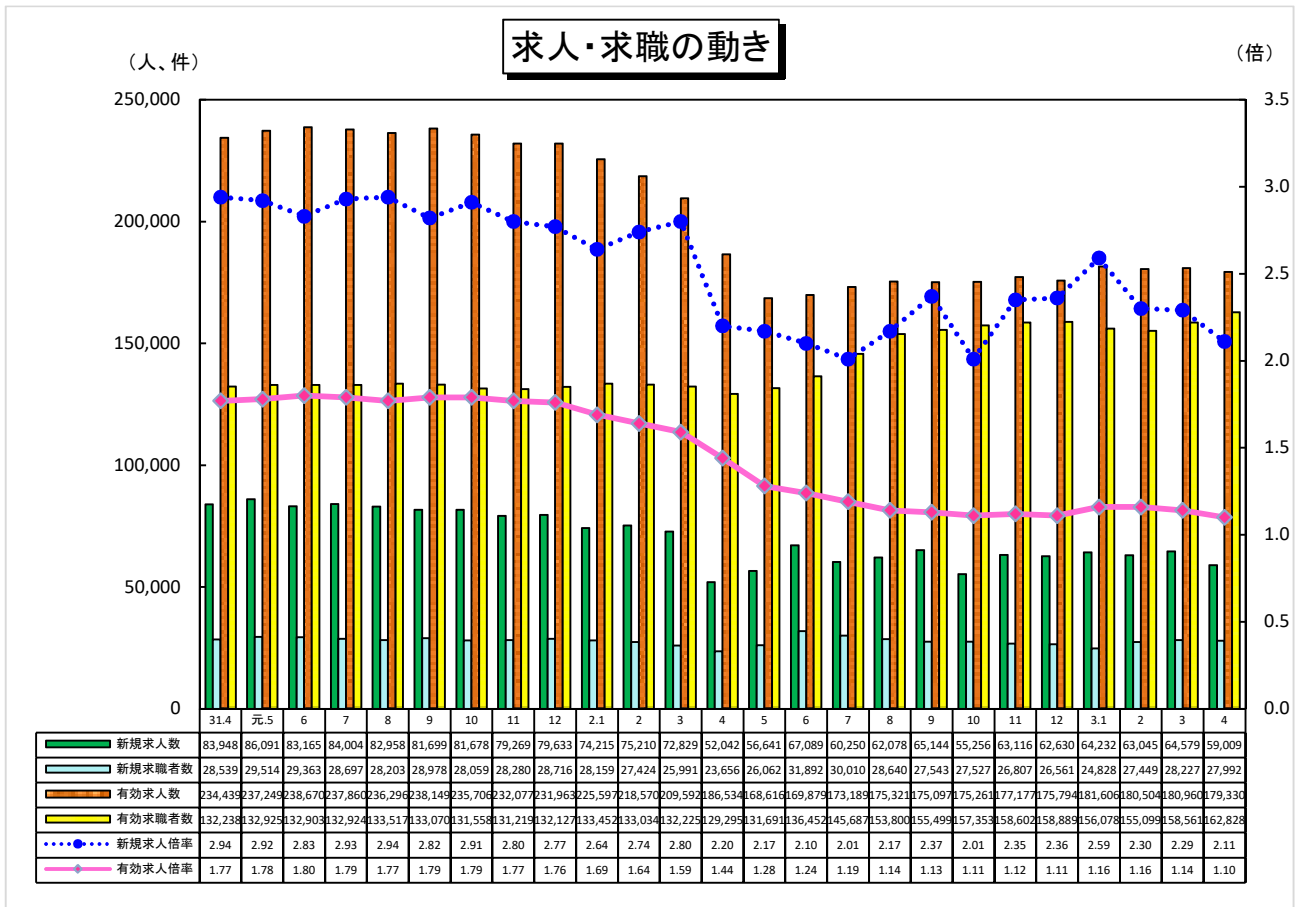
(求人倍率)

- 大阪府の令和3年4月の有効求人倍率(季節調整値)は1.10倍となり、前月より0.04ポイント低下した。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.11倍となり、前月より0.18ポイント低下した。

【参考】 就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は0.91倍(前月より0.04ポイント低下)と9か月連続で1倍を下回っている。

(求人・求職の動き)

- 4月の新規求人数(季節調整値)は前月比8.6%減となり、有効求人数(同)は前月比0.9%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比0.8%減となり、有効求職者数(同)は前月比2.7%増となった。
- 4月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると14.4%増となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比33.0%増)、製造業(同38.1%増)、情報通信業(同35.3%増)、運輸業、郵便業(同0.7%減)、卸売業、小売業(同16.5%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同16.1%増)、宿泊業、飲食サービス業(同6.0%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同51.2%増)、教育、学習支援業(同23.4%増)、医療、福祉(同10.8%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同1.4%増)と大半の産業で前年同月大幅減による反動増となった。



(注) 各月の数値は季節調整値。R3.2季節調整替。